

# 疣がポロリととれたケース

水野朋子

CHhom13期

インナーチャイルドセラピスト No.0623

## 要約

今回は、急性症状に対し、通常は30Cや200Cといった高ポテンシーが用いられることが多い中、低ポテンシーで改善したケースについて発表いたします。

足指の間にできた魚の目のような疣が肥大化し、痛みを伴うようになりました。疣に合うレメディーに加え、ニタック6Cという低ポテンシーのレメディーを追加したところ、わずか2週間で疣が自然に脱落するという劇的な改善が見られました。

## 主訴

12才女子のクライアント様です。左足親指の内側にできた疣が次第に大きくなり、痛みを伴うようになりました。日常生活にも支障をきたし、早急な改善が求められました。

# タイムライン

## 初期段階

左足親指の内側に白っぽい小さな疣が出現した。

## 進行

日常的に患部を触る癖があったためか、次第に疣は直径約1cmの大きさに増大し、内部から繊維状の多数の突起が認められるようになった。

## レメディー開始後

その後も症状は進行。特に指の間で隣接する指との摩擦により痛みが生じるようになったため、自己判断で毎日、突起部分をハサミで切除していた。

## レメディー追加

その結果、疣はさらに大きくなり、痛みがより増したため、レメディーを追加した。

## レメディー選択

期間	レメディー	レメディーの説明
1ヵ月程度	随時 MT) スーヤ 朝 フォサック 6C 夜 スーヤ 6C	疣に TBRで選択 疣に
追加 2週間程度	朝 ニタック 6C	疣に 左側の症状に

# 結 果

最初のレメディーをとった後、疣は一時的に活性化し、さらに大きくなる傾向が見られた。しかし、ニタック6Cを追加したところ、わずか2週間で著しい改善が認められた。

## 1週間目

疣が黒く変色を開始。



## 2週間目

疣がかさぶたのようになり、その後脱落。



# 考 察

## 低ポテンシーの有効性

急性症状に対して、通常用いられる30Cや200Cだけでなく低ポテンシー（今回は6Cを使用）も有効であることが判明しました。

## レメディー間の関係性

スーヤの補完レメディーとしてニタックが作用したことは、TBR（症状や特徴をまとめた索引）とマテリアメディカ（レメディーの性質や効果をまとめた書物）の知識の重要性を示唆しています。

## ホメオパシーへの信頼

当初ホメオパシーに懐疑的だったクライアントが、実体験を通じてその効果を認識し、信頼を築くことができました。